



ほけんだより

令和 6 年 3 月 虹のこころ保育園



少しずつ寒さも和らぎ、春を感じられるようになりました。

沢山の思い出でいっぱいとなった今年度も、締めくくりの時期となりました。

4 月の頃に比べ、一人ひとりが自分のペースで大きくたくましく成長した姿を見ると、嬉しさを感じるこの頃です。

子どもたちが元気に新年度を迎えられるよう、最後のひと月を大切に過ごしていきましょう。



3月のほけん行事

ひまわり・ゆり・ちゅうりっぷ組 視力検査を実施します

幼児クラス（ひまわり組・ゆり組・ちゅうりっぷ組）のみ、園内で視力検査を実施します。園での視力検査は、弱視を早期発見するためのスクリーニングとして実施するため、確定診断ではありません。中には、園では上手く測定できなかっただけで、正常に見えているお子さんもいます。

結果は、検査終了後にすくすくカードに記入してお知らせいたします。検査結果はあくまで参考として、日頃の生活の中で気になる様子があれば、眼科受診をご検討ください。

視力検査 日程

- 4日～8日 ひまわり組
- 18日～22日 ちゅうりっぷ組
- 25日～29日 ゆり組

その他ほけん行事 日程

- 4日 頭髪検査
- 13日 身体測定（ひまわり組・ゆり組）
- 14日 身体測定（ちゅうりっぷ組）
- 18日 頭髪検査
- 18日 身体測定（すみれ組）
- 21日 身体測定（あじさい組・よつば組）



「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は耳の日と言われています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃から子どもの様子をよく観察しましょう。

- ☑ 耳を爪でひっかいたり、強く引っ張ったりしない
- ☑ 耳のそばで、大きな音や声を出さない
- ☑ 鼻をかむときは片方ずつ静かに



子どもに多い耳の病気 中耳炎

中耳炎とは耳の中で起こる炎症のことを言います。鼻と耳はつながっていて、その通路のことを「耳管」と言います。耳管から細菌が入り込んで、中耳の奥にある鼓膜やその周辺が赤く腫れて炎症が起きた状態です。

子どもはこの耳管が短いため中耳炎にかかりやすく、特に乳児～就学前の子どもは注意が必要です。

急性中耳炎

中耳（鼓膜の内側）の中にウイルスや細菌が入り、炎症を起こして膿（うみ）がたまる病気です。風邪をひいたときに、無意識に鼻水をすすってしまう子どもも多く、鼻水が耳に流れて起こることがあります。

症状

- * 激しい耳の痛み
- * 高熱
- * 耳だれ（液体）が出る
- * 頭痛
- 等

気を付けること

風邪を引いた際はこまめに鼻水を取る。特に、0～2歳児は耳から鼻の管（耳管）が短いので注意して下さい。

しんじゅっせい 滲出性中耳炎

滲出性中耳炎は急性中耳炎の治療が不十分だった場合にかかりやすい病気です。鼻と耳をつなぐ耳管の働きが悪くなることで鼓膜の奥にある中耳腔に浸出液がたまって取れなくなった状態を言います。

症状

- * 耳が聞こえにくい
- * 呼んでも返事をしない
- 等



気を付けること

中耳炎の治療は最後まで受けること。治療を途中でやめてしまうと、慢性中耳炎に移行したり難聴の原因となることもあります。

保育中、耳垂れが出ていたり、耳を痛がる様子があり機嫌が悪い・発熱を伴う耳の症状がある場合は、保護者への方に連絡を入れさせていただいています。